

保護者のみなさまへ

～「令和4年度全国学力・学習状況調査及びすくすくウォッチ」の結果について～

河内長野市立小山田小学校

《基本的な考え方》

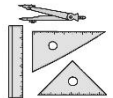
全国学力・学習状況調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況の把握・分析を行い、教育施策の成果と課題の検証及びその改善を図ること。また学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを通じて教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立することを目的としています。

またすくすくウォッチは、子どもたちに各教科の学力に加え、ことばの力や文章、情報を読み取り考える力、様々な情報を活用する力、そして「見えない学力」と言われるねばり強さや好奇心などを育む、大阪府としての取組みです。

これらをふまえて、本校では、次に挙げるような成果が期待されると考えております。

○子どもたちは、それぞれの学習の到達状況を知ることで、学習意欲を高め、自ら目標を持って今後の学習の改善や励みになる。

○学校は、自校の状況をより詳細に分析することで、子どもたちの確かな学力及び教員の指導力・授業力の向上につながる。



《調査結果の取り扱い》

今年度は、全国学力・学習状況調査とすくすくウォッチの結果と分析を提供いたします。

◇本調査により測定できるのは、学力の限られた一部分であり、学校における教育活動の一つの側面です。すべての学力を捉えられているものではないことに十分留意して取り扱うことが必要です。

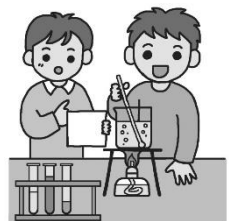
◇学校は、「子どもにどのような力がついてきたのか」「学校がどのような教育を進めているのか」「子どもの学習状況や生活習慣等にどのような良い点・課題があるのか」など、一人ひとりの学力向上の取り組みの改善とともに、学校における課題を整理して、課題改善する取り組みを進めていきます。

《お願い》

□学習への意欲は、子どもの自尊感情と大きな関係があります。友だちやきょうだいと比較することは、意欲を低下させる場合があります。今回の結果からお子様の伸びや課題を知り、まずはお子様の良いところを褒めてください。その上で、課題について頑張って克服できるよう励ましてあげてください。そのことがお子様の学習意欲を高めることにつながります。

□学力の向上は学校が主にその役割を担いますが、各家庭におかれましても、今回の結果を子どもたちの基本的な生活習慣の見直しや今後の家庭学習の進め方等の参考にさせていただきますようよろしくお願いいたします。

□調査結果のうち、正答率については、調査に参加した子ども並びに保護者の方にのみ提供しているものです。学校間の序列化や過度な競争につながらないよう、その取り扱いについては、十分にご留意いただきますようお願いいたします。



令和4年度 全国学力・学習状況調査及びすくすくウォッチの分析

河内長野市立小山田小学校 6年生

全国学力・学習状況調査の概要6年

【 国語 】

概要

全体の正答率が大阪府・全国を下回る結果となった。中でも記述式の問題では、条件の整理や把握ができておらず正答率が低く、また無回答も多い。問題に丁寧に取り組んでいるが、解答時間が足りないと感じる児童が多い。

特に成果が見られた問題例

- ・「叙述をもとに登場人物の心情を読みとる問題」では、行動や会話、地の文などをもとに、気持ちを考えることができています。
- ・「文章構成に着目し、書き表し方を捉える問題」では、自分の考えが明確に伝わる文章構成を理解することができています。

特に課題が見られた問題例

- ・「条件に沿って自分の意見を記述する問題」では、必要な言葉や文を取り上げようとしているが、条件を満たす文章を書く力が弱い。
- ・「文学的表現の意図を考える問題」では、物語全体の概要を捉え、その表現の効果を理解する力が不足していると考えられる。

【 算数 】

概要

全体的には、全国・大阪府に比べて正答率が高い。中でも「変化と関係」においては大きな成果が見られる。記述式の問題の無回答率が高く、抵抗を感じる児童が多い。

特に成果が見られた問題例

- ・「二つの数の最小公倍数を求める問題」では、最小公倍数の意味や求め方が正しく理解できている。
- ・「表に当てはまる数を求める問題」では、表の意味を理解し、全体と部分の関係に着目して計算することができている。

特に課題が見られた問題例

- ・「目的に応じたグラフを選択し、必要な情報を読み取る問題」では、正しいグラフを選択することができていたが、正確にデータを読み取ることに課題が見られる。
- ・「プログラムによって正三角形を作図する問題」では、回転の大きさとしての角の大きさに着目できておらず、正確な指示が書けていない。

【 理科 】

概要

平均正答率は、大阪府を上回っているが、全国平均でみると多少下回っているといえる。基礎的な知識を問われている短答式の記述問題や選択式問題では大きく全国平均を上回っているものが多い。

特に成果が見られた問題例

- ・「昆虫についての問題」では、昆虫の生態や体のつくりについて理解できている。
- ・「実験用具の名前、使用方法についての問題」では、正答率が特に高く、実際に使用した用具についての知識が身につけている。

特に課題が見られた問題例

- ・「光の性質を基に熱エネルギーとして考える問題」で、正答率が低い。では、反射させた日光の進み方についての理解に課題がある。実験の結果を根拠として、理由を説明する力が弱い。

すくすくウォッチの概要 6年

【 わくわく問題（教科横断的な問題） 6年】

概要

観点別では「とらえる」「考える」「伝える」ことにおいて大阪府を上回っている。「興味・関心」においては大阪府を下回っている。プログラミング的思考に成果が見られ、順序立てて考え、解答することができている。身近な問題解決に対する取り組みへの表現や関心・意欲が課題として見られる。

特に成果が見られた問題例

- ・「基礎的な読み取りの力を問う問題」では、「大阪湾」についての資料から記事の内容がよくわかるように、ふさわしい資料を選択することができている。
- ・「相手にわかりやすく伝えることを目的とした問題」では、学校生活をよりよくするために伝えたいことを選び、守ってほしい理由を入れ、呼びかける文章で書くことができている。

特に課題が見られた問題例

- ・「技術と生活との関係に対する知識や関心を持つことを目的とした問題」では、平均正答率が低い。複数資料を関連付けられていないことが原因と考えられる。また、資料内で扱われていた語句の違いの読み取り不足も考えられる。
- ・「課題解決のための考えや手立てを相手にわかりやすく伝えることを目的とした問題」では、大阪府と比べて平均正答率が低い。無回答率も高く生活の中で自分が気になっていることとそれを解決するための取り組みについて考えにくい児童が多い。提示されたことから課題や解決方法を選択し考えることはできるが、自ら生み出すことに課題が見られる。

全国学力・学習状況調査及びすくすくウォッチ 6年生 児童アンケート

特に成果が見られたアンケート項目例

- ・自分には、よいところがあると思いますか。〔あてはまる・どちらかといえばあてはまる 92%〕
- ・6年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか。〔毎日使用している・週3回以上使用している 71.5%〕
- ・5年生までに受けた授業では、自分の思いや考えをもとに、作品や作文など新しいものを創り出す活動を行っていましたか。〔あてはまる・どちらかといえばあてはまる 77.8%〕

特に課題が見られたアンケート項目例

- ・ふだん（月曜から金曜日）1日当たりどれくらいの時間テレビゲーム（携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む）をしますか。〔3時間以上 36.5%〕
- ・ふだん（月曜から金曜日）1日当たりどれくらいの時間携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴をしますか。（学習・ゲームを除く）〔3時間以上 23.8%〕
- ・自分の考えを積極的に発言している。〔あてはまらない・どちらかといえばあてはまらない 50.1%〕

令和4年度 すくすくウォッチの分析

河内長野市立小山田小学校 5年生

【 国語 】

概要

平均正答率は、「知識・技能」「思考・判断・表現」ともに、大阪府より上回っている。全体的に、国語の力はついていると考えられる。

特に成果が見られた問題例

- ・「指し示す言葉として正しいものを選ぶ問題」では、文を正しく理解し、指示語の指示内容を正しく捉えることができています。
- ・「内容が同じ意味を表す文を選ぶ問題」では、示された文の構造や、複数の情報の関係性を把握して文の内容を正しく理解できています。

特に課題が見られた問題例

- ・「ことわざ・故事成語の意味を問う問題」では、正答率が低く、故事成語ではなくそのままの意味を解答する児童が多い。
- ・「主語・述語の関係を捉えて、文の内容を正しく理解する問題」では、文の内容から状況を把握することが弱い。

【 算数 】

概要

平均正答率は、大阪府より下回っているが、評価の観点別にみると、「思考・判断・表現」が上回っている。

特に成果が見られた問題例

- ・「図形の構成に関する問題」では、正答率が高く、長方形や平行四辺形の構成について理解できている。
- ・「グラフを正しく読み取る問題」では、棒グラフと折れ線グラフの2つのグラフから適切に情報を読み取ることができています。

特に課題が見られた問題例

- ・「伴って変わる2つの数量関係を式に表す問題」では、関係式の立式ができておらず、規則性に気付く力が弱い。
- ・「面積が最大となる理由を説明する問題」では、周囲の長さとの面積の関係をイメージする力に課題がある。

【 理科 】

概要

平均正答率は、「知識・技能」「思考・判断・表現」ともに、大阪府より上回っている。日常生活に関連する記述問題の無回答率も大阪府と比べて低く、意欲的に取り組む姿勢が見られる。

特に成果が見られた問題例

- ・「蒸発や結露について問う問題」では、既習の用語が定着しており、日常生活と関連付けて理解することができています。
- ・「2つの乾電池を用いて電流が大きくなる導線のつなぎ方を問う問題」では、つなぎ方と名称を理解することができています。

特に課題が見られた問題例

- ・「気温の測り方を問う問題」では、温度計の正しい使い方が十分理解できていない。

【 わくわく問題（教科横断的な問題） 5年 】

概要

平均正答率は、大阪府より上回っている。無回答率も大阪府より低く、興味関心を持ち意欲的に工夫して相手に伝えようとする姿勢が見られる。記述式問題においても成果が見られる。

特に成果が見られた問題例

- ・「環境問題について記事を書く問題」では、資料の情報を整理して、自分の考えを伝えることができています。
- ・「プログラミング的思考を育む問題」では、与えられた情報を理解し、適切な指示を考えることができています。
- ・「相手にわかりやすく伝えることを目的とした問題」では、自分の気になることを挙げ、どのように解決しようとするか、そのために取り組んでみたいことについて書くことができています。

特に課題が見られた問題例

- ・「技術と生活との関係に対する知識や関心を持つことを目的とした問題」では、平均正答率が低い。資料を関連付けられていないことが原因と考えられる。また、資料内で扱われていた語句の違いの読み取り不足も考えられる。複数資料をもとに考えを理由とともに書くことにおいても課題が残る。

【5年生 児童アンケート】

特に成果が見られたアンケート項目例

- ・あなたの学級は、友だちのよいところを互いに認め合える。
〔あてはまる・どちらかといえばあてはまる 90.5%〕
- ・あなたの学級は、友だちが困っているときには助け合う。
〔あてはまる・どちらかといえばあてはまる 96.9%〕
- ・あなたの学級は、日直や係の仕事を自分たちで考えて取り組んでいる。
〔あてはまる・どちらかといえばあてはまる 90.5%〕

特に課題が見られたアンケート項目例

- ・つらい気持ちになることがあったときは、態度や表情に出す。
〔あてはまらない・どちらかといえばあてはまらない 36.5%〕
- ・自分の考えを積極的に発言している。
〔あてはまらない・どちらかといえばあてはまらない 57.2%〕
- ・ふだん（月曜日から金曜日）1日に、およそどれくらいの時間、学習以外に（ゲームやSNS等）スマートフォンやタブレット等を使っていますか。
〔3時間以上 42.9%〕

結果を受けて

【学校が重点的に取り組んでいくこと】

- ・漢字や計算などの基礎的な技能を繰り返し定着させ、日常生活でも活用できる力を養う。
- ・日常の生活と既習事項を結び付ける指導を行う。モジュールの時間に既習事項の確認を行う。
- ・プログラミング的思考を育む授業を各学年で計画的に実施し、物事を順序だてて考え、論理的に考える力をつけるような学習を取り入れる。
- ・書く活動では、モデルとなる型を提示し、書くスキルを身に着けるとともに、自分の考えを表現する力を養う。
- ・文章全体の概要を理解する力を養う。
- ・複数の結果やデータから物事を考察する機会を設ける際は、着眼する部分やそこから分かることを確認するなどの段階的指導をする。
- ・自分の考えと比べたり、分からないことを質問したりして、双方向の話し合いをめざす。聞く側は、相手の意見をきちんと聞き、話す側も相手を意識することで、自分の考えを深められるようにする。
- ・ICT を自分の意見や考えを広げたり、全体から学んだりするためのツールとして活用する力をつける。
- ・児童が主体的に学習する課題設定を行い、解決することができる学習を取り入れていく。
- ・毎日の学校生活の中で、きまりを守ることの大切さについて指導する。

【児童のみなさんにしっかり取り組んでほしいこと】

- ・習った漢字や計算など基礎基本の学習にしっかり取り組み、日常生活で積極的に使いましょう。
- ・自分の考えを書いたり、友だちの意見のよいところや自分と違うところを見つけたりしてみよう。
- ・常に自分自身で目当てや目的を持ち粘り強く学習に取り組みましょう。
- ・自分から進んで計画をたてて勉強することが大切です。興味・関心のあることや苦手な教科の復習など自主勉強に積極的に取り組みましょう。
- ・ICT 機器は使い方によって良い面も悪い面も生まれます。学校で学んだことやおうちでの約束をしっかり守り、より良い使い方ができるようにしましょう。
- ・読書は今まで知らなかった世界や考え方を示してくれます。多くの本に触れ、その時に感じたことを読書ノートに書きましょう。
- ・毎日の学校生活を支えているのは、基本的な生活習慣です。「早寝・早起き・朝ごはんを食べる」を心がけましょう。

【保護者のみなさまに協力していただきたいこと】

- ・子どもの安定した生活を支えるものは、基本的な生活習慣です。「起床、朝食、登校、夕食、就寝」などの生活習慣の確立を今後もお願いします。
- ・ご家庭において、一定時間机に向かうことは、学習の定着とともに家庭学習の習慣づけを行う上でも重要です。主体的に学習に取り組めるようご家庭でもご協力をお願いします。
- ・子どものスマホやゲーム等の使用する時間、また SNS など相手に送る言葉にしっかり目を向けておいてください。約束ごとを決め守ることで、子どもたちが気持ちよく生活することができます。
- ・会話の時間を大切にし、家族の一員として具体的な言葉で頑張りを認め、ほめてあげてください。